

## プラ容器の汚れの落とし方

プラ容器とは、商品の中身を取り出したり食べたりして不要になる、プラスチック製の容器や包装のことです。プラ容器にはほとんどの物に「プラマーク」がついています。プラ容器は汚れたままではリサイクルできません。中身を使い切っても、汚れが残っている場合は、軽く洗うか布などで拭いてください。ご面倒でも資源の再利用のため、プラ容器として分別しましょう。



### なぜ汚れを落とす必要があるのでしょうか？

プラスチックごみを別のプラスチック製品として再商品化するうえで不純物(特に油污れ)が混在しないようにする必要があります。

### ちょっとした手間できれいに分別できます

使用済みの容器は使い切った直後であれば水で簡単に洗い流せます。

どうしても汚れが落ちないようであれば、他の容器への付着を防ぐためにも、可燃ごみとして廃棄します。

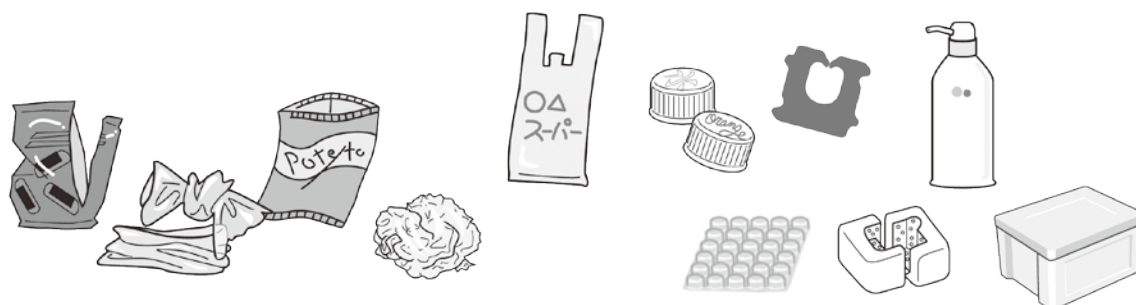
- ・納豆のパックなどでも、水に浸けてからすすぐときれいに汚れを落とせます。
- ・チューブ類は半分に切断すれば中まできれいに洗えます。
- ・ボトル類は水を注いでシャカシャカ振って汚れを落としましょう。

### 注意

- 汚れたままのプラ容器は絶対に入れないでください。きれいなプラ容器まで汚してしまい、全てが資源として再生できなくなります。
- 汚れている(汚れが落としにくい)プラ容器は「可燃ごみ」へ

### プラ容器を大きく分類すると次のようなものになります

ポリ袋、ラップ、外装フィルム、トレー、パック、カップ、プラスチック製ボトル、チューブ、ネット、緩衝材、発泡スチロール、プラスチック製ふた



### プラ容器でないもの

カセットテープ、ビデオテープ、バケツ、ハンガー、食器、おもちゃ、文房具などは、プラスチック製でも可燃ごみです。

### 平成30年度 野木町ごみ処理経費の実績

ごみ処理経費：約3.6億円

1人当たり年間ごみ処理費用：約1万4千円

ごみ1トン当たりの年間平均処理費用：約4万5千円